

テレワーク活用

人材育成上の課題・目標

- ・ Web会議用ソフトの効率的な使い方を知りたい
- ・ テレワーク下における環境の構築方法を知りたい
- ・ テレワーク下の共同作業の方法を知りたい
- ・ テレワーク下のメンタルヘルスが心配だ
- ・ 情報漏えいリスクへの対処方法を知りたい



課題解決・目標達成を目指して

- ・ 代表的な Web会議用ソフト等を理解する
- ・ パソコンをきちんと設定できる
- ・ テレワーク下でも生産性を落とさず共同作業が行える環境を理解する
- ・ テレワーク下であってもメンタルヘルスを維持できる
- ・ 情報漏えいリスクへの対処方法を理解する

コースのねらい

テレワーク時に必要なコミュニケーション方法、ソフトの活用方法、各種ソフトの使い方やそれらを活用した業務の効率化や生産性向上の方法について習得する。

カリキュラム（例）

	基本項目	主な内容（例）
基本要素	■ テレワークの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレワークとは ・ テレワーク時に必要な心得 ・ 社内コミュニケーションと社外コミュニケーション
	■ テレワークに必要なソフトの活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代表的な Web会議用ソフトの使い方 ・ 様々な Web会議用ソフトを支援するクラウドサービスやチャットツールの使い方 ・ VPNソフトの設定方法 ・ 通信環境の見直し
	■ テレワークの留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレワーク時の業務環境の整備 ・ テレワーク時の意識改革 ・ テレワーク下のメンタルヘルス ・ テレワーク下の情報漏えいリスク
	演習（例）	<ul style="list-style-type: none"> ・ Web会議用ソフトの実践演習 ・ 生産性を向上させる代表的なクラウドサービスやチャットツールの実践演習
	応用・実践要素（例）	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレワーク下におけるチーム作業の進め方 ・ Web会議用ソフト以外のコラボレーションツールの活用

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。

日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース
5,500円（税込）

※ 金額は、1名あたりの受講料です。
※ 6～30時間の間で設定可能です。

推奨対象者

初任層

関連コース

- A バックオフィス
- ・ クラウド活用入門
 - ・ クラウドを活用したシステム導入
 - ・ クラウドを活用した情報共有能力の拡充
 - ・ IoT導入に係る情報セキュリティ
 - ・ テレワークを活用した業務効率化
 - ・ IT新技術による業務改善
 - ・ データ活用で進める業務連携
 - ・ 失敗しない社内システム導入
- B 組織マネジメント
- ・ 成果を上げる業務改善
 - ・ IoTを活用したビジネスモデル
 - ・ ムダを飛ばすための業務プロセスの見える化と業務改善
- D 倫理・セキュリティ
- ・ 脅威情報とセキュリティ対策
 - ・ 情報漏えいの原因と対応・対策

使用機器等

パソコン、インターネット、Web会議用ソフト